

第29回栗東市中小企業振興会議（書面開催）

書面決議結果と意見に対する事務局回答

書面決議書結果

報告事項	意見の有無	
(1) 商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る進捗状況について（資料1）	あり：1	なし：9
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する商工関連の取り組み等について（資料2）	あり：1	なし：9
協議事項	確認結果	
(1) 栗東市商工振興ビジョン後半期ロードマップ（改訂案）について（資料3）	賛成：10	反対：0
(2) 令和3年度中小企業振興会議のスケジュール（案）について（資料4）	賛成：10	反対：0

意見に対する事務局回答

【報告事項】

(1) 商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る進捗状況について（資料1）

意見	事務局回答
<p>● 具体的施策3「関係機関との連携によるサポート体制と相談体制による支援」について、相談件数が減少しているが、コロナ禍における実情に対応していないのではないかと。電話やリモートを利用した開催方法の変更・追加等が必要なのではないかと。</p>	<p>■ 令和3年3月までの件数を含めると12件となり、昨年度の17件と比較すると少ない結果となっています。今年度5月には、県内に緊急事態宣言が発令されていたことから、電話によるリモート方式で開催をしており、今後も、状況に応じてリモート等を活用して相談会を開催します。 また、相談会のチラシの配布について、従来の配布先に加えて、事業者向けのアンケート調査の送付に併せて同封することなど、さらなる周知を実施していきます。</p>
<p>● 主要な柱「2. 消費者ニーズの創出」について、創業者数の増加、空きテナント数の減少を踏まえると、庁舎内での市内購買率も上昇することを見込まなければ施策との整合性がないのではないかと。</p>	<p>■ この計画値については、計画期間最終年度である令和6年度までの5年間で90.6%を達成できるように設定した数値となっています。ご意見を踏まえて、次回会議以降では、この数値や他の項目を含めて、段階的に設定した計画値となるように再度整理をしていきます。</p>

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する商工関連の取り組み等について（資料2）

意見	事務局回答
<p>● りっとう元気アップ応援券事業について、事業者と市民にメリットがあるが、使用率が低いことから「もったいなさ」を感じる。市民が使用しなかった理由の分析を行うべきである。 また、消費者目線での制度設計が不十分だったのではないかと。3種類の券種にしたことが市民に不便さやストレスを感じさせていないか。啓発もあらゆる世代に向けて丁寧な説明ができていたのか。</p>	<p>■ 当事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活の下支えと、市内経済の活性化を図ることを目的に実施しました。使用率については、資料では2月18日時点で67.9%ですが、最新の状況は3月9日時点で89.0%の実績となっています。なお、3月19日までが換金終了期間です。 今回の事業内容については、市民や取扱店舗へのアンケート調査を実施中であり、その結果を分析検討して、次年度に予定している消費喚起施策などの制度設計や周知方法などに活かしていきたいと考えています。 券種については、特に大きな影響を受けた飲食店への消費促進のために3種類に設定しました。職員による店舗ヒアリングでは、飲食店から好評をいただいています。</p>

意見	事務局回答
<p>●りっとう元気アップ応援券取扱店給付金事業について、事業者にとって給付金が「つなぎ」になっていないか。支給に併せて「助言」や「活用例」を示していたのか。感染症対策といっても活用用途に迷われている事業者もいることが考えられる。また、「もしサポ滋賀」等の周知・導入がほとんどされていないことに驚いた。コストゼロで導入、啓発ができるものであるため積極的な周知が必要である。</p>	<p>■当給付金については、市内事業者の事業の維持及び発展に向けた支援と市民が安心して取扱店舗を利用できる環境を推進することが目的となっています。給付金の活用用途については、職員による店舗ヒアリングにおいて、全ての店舗で安全・安心の確保のためのマスク購入、消毒液の設置等の取り組みが実施されていることを確認しており、市民の安全・安心の確保のための取り組みに活用されていたと考えています。</p> <p>「もしサポ滋賀」の周知については、取扱店舗ヒアリングにおいて、登録確認において未登録店舗への登録促進のために、利用方法のチラシを配布しています。</p>

【協議事項】

(1) 栗東市商工振興ビジョン後半期ロードマップ（改訂案）について（資料3）

意見	事務局回答
<p>●各K P Iの達成状況について、計画後半期の時期にある中、実績値が古いものがある。今回の改訂対象ではないが、最新の情報に更新しても良いのではないかと。</p>	<p>■この資料の第4章と資料1の各K P Iについては、現時点における国の統計資料である経済センサス活動調査の最新数値（現在は平成28年分）や市独自調査の最新数値等を記載しています。今後、この数値の更新状況に併せて、K P Iの最新数値も更新記載していきます。</p>

【その他の意見】

意見	事務局回答
<p>●アフターコロナ、ウィズコロナ時代において、この後半期ロードマップや中小企業振興会議はより重要性が増してくる。今後も、この会議で重要な事業を議論していくことから、従来通りの開催方法にて実施してもらいたい。リスク回避という意味での書面開催は理解できるが、しっかりと議論を行わなければ当会議の意味がなくなるのではないかと。</p>	<p>■今回の会議については、近隣府県における緊急事態宣言が発令されていたことから、書面による開催としました。ご意見の通り、次回以降の会議においては、出来る限り従来の開催方法での開催を考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ご議論いただけるように開催方法の検討を行います。</p>
<p>●書面開催による会議ではなく、従来の開催方法による会議の方が有意義であると考えている。</p>	